

日本語教師・初任【就労者】に対する 日本語教師の専門性とは ～その資質・能力，教育内容から考える～

特定非営利活動法人 日本語教育研究所
理事、研究員 長崎 清美

- I. 特定非営利活動法人 日本語教育研究所について
- II. 就労者に対する日本語教師研修の報告
- III. 就労者に対する日本語教育で押さえるべきポイント
- IV. 就労者に対する日本語教師に求められること

I . 特定非営利活動法人 日本語教育研究所

- ・ 日本語教育領域におけるコンサルティングおよびソフト開発事業を展開する企業を前身に設立
- ・ 2003年に特定非営利活動法人に移行
- ・ 会員数 約250名（人材バンク登録者 約150名）
- ・ 現在、日本語教育の発展、国際社会の日本語・日本文化への理解促進に寄与するため活動中

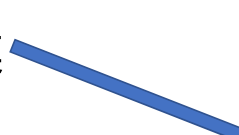
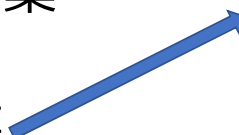
I . 特定非営利活動法人 日本語教育研究所

1. 日本語教育に関する調査・普及啓蒙事業
2. 日本語学習者支援事業
3. 日本語教師支援事業
4. 日本語教育支援事業

教師向け研修

企業向け日本語研修

対面、オンライン、
添削など



Ⅱ. 日本語教育研究所の多様な研修実績及び人材を活かした 就労者に対する日本語教師養成研修 -ビジネスパーソンへの日本語レッスン-

大小様々な企業の就労者に対する日本語研修を
実施して得たノウハウ



会員250名を擁する当研究所の人材、ネットワーク

Ⅱ. 就労者に対する日本語教師研修

第1期（理論）

就労者に対する日本語教育の現状、教師に求められる能力に
ついて理解する。

第2期（ワークショップ）

実際にどのように研修、レッスンが行われるのかを
ワークショップを交えて学ぶ。

第3期（個別実習） 2020年度実施予定

Ⅱ．就労者に対する日本語教師研修

本研修が目指す教師力

- ・ 受講者の日本語力、受講者と**企業のニーズ**を的確にとらえる力
- ・ 日本語力とニーズに対応した**コースデザイン**ができる力
- ・ 研修の進捗状況や評価を報告するための**コミュニケーション**能力
- ・ 教材作成、報告業務などに必要な**コンピューターリテラシー**

Ⅱ．就労者に対する日本語教師研修

第1期（理論）

就労者のニーズの多様性

外国籍人材の就職状況及び企業の求める人材

就労者の異文化適応

コースデザイン

ICTの活用

BJTビジネス日本語能力テスト

学習者の学習状況の管理

など

Ⅱ．就労者に対する日本語教師研修

第2期（ワークショップ）

ビジネス日本語のコースデザイン

ビジネスマナー教授法

オンラインレッスン概要

ライティング添削概要

PCを使っでの記録、報告書などの実例紹介

Ⅲ．就労者に対する日本語教育で押さえるべきポイント

- ① 「受講生のニーズ」だけでなく「雇用主のニーズ」
 - ・ 企業との連携
 - ・ 適切なコースデザイン、適切な評価
- ② 「正しい日本語」より「いい人間関係が築ける日本語」
 - ・ 必要とされる日本語の分析
 - ・ テキストに「足す」+テキストから「引く」

Ⅲ. 就労者に対する日本語教育で押さえるべきポイント

- ③ 「教室」の中から「社会」へ
 - ・ 外国人を取り巻く現状の把握
 - ・ 個々の受講生の抱える問題の把握
 - ・ 受講生の将来を見据えた支援
- ④ 上記の①②③を理論＋実践で体系的に提供

Ⅳ. 就労者に対する日本語教師に求められること

- ① 「受講生のニーズ」だけでなく「雇用主のニーズ」
- ② 「正しい日本語」より「いい人間関係が築ける日本語」
- ③ 「教室」の中から「社会」へ



個々の受講生に合わせたコースをカスタマイズする力
「日本語」だけではない現代社会への興味関心
多様な文化に対する感性を磨き続ける姿勢